

平成 30 年度 (2018 年度)
首都大学東京 大学院都市環境科学研究科
都市政策科学域 選抜試験 (冬季)
博士後期課程

科目 < 専門科目 >

時間 12 : 30 ~ 14 : 30

- 注意事項：
- ① 解答は、配布された解答用紙に行うこと。不足した場合は、手を挙げて申し出てください。
 - ② その他、監督者の指示に従うこと。

受験番号	氏名
------	----

以下の設問の中から、いずれか1問を選択し解答しなさい。なお、選択した問題番号を解答用紙に記入すること。

設問 1

人口減少が進む人口 15 万人程度のある地方都市において、市長が中心市街地の活性化のために、総事業費 200 億円の文化総合施設（図書館、美術館、音楽ホールを中心とした複合施設）の建設を表明した。内外の建築家に呼びかけて計画案のコンペティションを行い、設計者を決定するという。

このことについて、どのような課題が想定され、その課題を回避、あるいは解決するために、どのような計画のプロセスを組み立てていくべきかを論じなさい。なお、敷地等の条件は以下に示す通りであるが、以下に示されていない点は自由に設定してもよい。また、具体的な都市、具体的な敷地をあらかじめ設定して回答してもよいが、その場合は都市名、敷地名を回答に具体的に示すこと。

- ① 敷地は中心部の城郭跡地の一部であり、周辺には城址や明治期に建てられた洋風建築といった歴史的建造物が残存する。
- ② 美術館と音楽ホールは現在地に、図書館は郊外に、全て 1975 年に建てられたものであり、これら全てを壊して建替える計画である。図書館の跡地利用の計画は未定である。
- ③ 市の年間の歳入は 800 億円程度であり、これまでは堅実な都市経営を行ってきた。
- ④ 市長は 2 期目を迎えたばかりであるが、2 度目の選挙も接戦であった。市長は市議会で一番多い議席を占める会派の支持を受けているが、その会派は市議会の中で安定的な多数派を形成できているわけではない。

設問 2

- (1) 土地や住宅の価格には、ストック価格（地価、住宅価格）とフロー価格（地代、賃貸価格）が存在する。両者の長期的な関係について説明しなさい。数式を用いてもよい。
- (2) 地域の環境の価値を経済的に計測する方法には、地価や住宅価格を用いる手法と、賃金を用いる手法とがある。両者の相違について、それぞれの手法が基づく仮説を示した上で説明しなさい。また、都市圏と非都市圏などの地域間の環境の相違を計測するためには、どちらの手法が適しているかについて、考えを述べなさい。